



平成 30 年 7 月 13 日

広島大学が指揮を執る JMAT 感染対策チームが 活動を開始しました

平成 30 年 7 月豪雨災害で被災した方々を支援するため、広島大学が指揮を執る JMAT（日本医師会災害医療チーム）の感染症対策チームが 7 月 13 日、広島県内の被災地区にある避難所で活動を開始しました。

第 1 陣として 13 日午後、広島大学病院の大毛宏喜教授ら医師 2 人、看護師 1 人が熊野町民体育館（安芸郡熊野町川角 5-10-1）に設置された避難所で活動を開始しました。

同チームは広島県が主体となり広島県医師会が協力して派遣します。感染対策を専門とする県内病院の医師や看護師らが避難所で活動します。

避難住民らの聞き取りや調査を行い、①感染症発生の有無②今後、避難所で感染症が発生するリスク評価などに当たります。

【お問い合わせ先】

広島県健康福祉局健康対策課 担当：河端

TEL : 082-513-3067

広島大学財務・総務室副理事（広報担当） 担当：山内

TEL : 082-424-6017

E-mail : koho@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A 4 版 1 枚（本票含む）